

ぜんさいしよう

No. 138
2025.3.15



大丈夫

松尾 創

全埼玉私立幼稚園連合会 会長



埼玉県内の幼稚園・こども園の先生のみなさま、私の声が聞こえますか？

想像してみてください。みなさんは、子どもたちの未来を創造する「魔法使い」です。小さな手を取り、温かい眼差しを向け、無限の可能性を解き放つ、まさに奇跡の立会人。

しかし、魔法はいつも順風満帆ではありません。時には、嵐が吹き荒れ、暗雲が立ち込めることもあるでしょう。子どもたちの涙、保護者の不安、そして、時に押し寄せる孤独感。それでも、どうか忘れないでください。あなたには、子どもたちの未来を照らす、希望の光を灯す力が宿っていることを。

ある日、一人の子どもが、自信を失い、夢を諦めかけていました。その時、あなたは、その子の小さな手

に、そっと魔法の杖を握らせたのです。「大丈夫、あなたならできる」と、温かい言葉で勇気づけ、信じる心を与えました。すると、どうでしょう。その子は、再び輝きを取り戻し、力強く歩み始めたのです。

これは、決して物語ではありません。みなさんが日々、子どもたちと紡いでいる、紛れもない真実なのです。

さあ、顔を上げてください。あなたは一人ではありません。私たち幼稚園連合会は、常にあなたのそばにいます。共に手を取り合い、困難を乗り越え、子どもたちの未来を切り拓いていきましょう。

忘れないでください。あなたは、子どもたちの未来を創造する、唯一無二の魔法使いなのです。あなたの情熱と愛情が、子どもたちの未来を輝かせ、埼玉県全体を、希望に満ちた場所へと変えていくのです。

私は皆さんを信じています。
「あなたなら大丈夫！」ということ。

共に、未来への扉を開きましょう。

Contents

- 2 ▶ こども家庭庁訪問・陳情
私学教育振興研修会
新規採用教員研修
- 3 ▶ 保育実践研究協議会
0・1・2歳児研修会
特別支援研修会
- 4 ▶ 幼稚園めぐり
三郷市での取り組み



こども家庭庁 訪問・陳情

昨年12月5日、松尾会長・専務理事・副会長と、さいたま市幼稚園協会会長・役員の総勢11名が村井英樹衆議院議員と一緒に、渡辺由美子こども家庭庁長官を訪問しました。限られた時間ではありましたが、埼玉県

の幼稚園と認定こども園の現状や、国の補助単価の東京都との格差について感じていること等を伝え、「地域手当の級地区分」が見直され他県との隣接地域に格差が生じないよう「公定価格の改定についての要望書」を提出しました。渡辺長官からは格差の大きい新単価への見直しは当分延期するとのお話をいただきました。



左から村井英樹衆議院議員、松尾 創全埼玉幼稚園協会会長、渡辺由美子こども家庭庁長官

私学教育振興 研修会

令和7年1月28日、ロイヤルパインズホテル浦和にて全埼玉私立幼稚園連合会、埼玉県私立中学高等学校協会、埼玉県専修学校各種学校協会の関係者100名超が集い、埼玉県私立学校総連合会 私学教育振興研修会並びに私学団体新春懇談会が開催されました。

研修会では埼玉県私立学校総連合会 青木徹会長のご挨拶の後、東京大学大学院教授 池谷裕二先生より「脳を育てること」という演題でご講演をいただきました。

研修会後は私学団体新春懇談会が開かれ、埼玉県知事大野元裕様、埼玉県議会議員 齋藤邦明様ご臨席の下、校種の垣根を越え盛んに交流がされていました。

私の研究室に掲げているのは孔子の言葉「知好楽」。知っているだけの人は好きでやっている人には敵わず、好きでやっている人は楽しんでやっている人には敵わない。楽しんで学ぶことがとても大切です。



東京大学大学院教授
池谷 裕二 先生

新規採用教員研修

新規採用教員研修 第10日目の講義と閉講式が、令和7年1月18日(土)埼玉会館大ホールにて開催されました。午前の講義は、東京成徳短期大学教授大澤洋美先生より、「幼児理解と保育の展開」をテーマに行われ、午後の講義は東京成徳短期大学名誉教授安見克夫先生より、「子どもの成長と教師の喜び」をテーマに行われました。その後の閉講式は、研修を修了する先生方のさらなる保育への情熱などが感じられる雰囲気の中、滞りなく終了しました。

各ブロックの
内容は
こちらから



研修を終えて

■研修を10回受講して感じたことは、子どもが大好きなこの気持ちがとても大切だということです。また、見通しをもった保育をすることや個と全体を見る力を養うことが大切であることを学びました。子どもの手本となり、支えてくださっている先生方に感謝や尊敬の気持ちを持ち、信頼される保育者を目指し努力してまいります。

■あっという間の一年で、日々失敗と反省の毎日でした。でも新採研のグループ協議でのさまざまな先生の話や自分の意見を話すことで保育に対する情熱や興味関心がさらに芽生えました。この研修で学んだことを取り入れながら、自分らしい保育を自信を持ってできるようにこれからも学び続けたいと思います。

保育実践研究 協議会

参加者の感想

- ・保育に子どもを合わせるのではなく、子どもや保護者に合わせた安心感のある保育を作っていきたい。
- ・子どもの育ちで大切なのは、安心して過ごせる場所であり、安心は成長の根幹だと思った。
- ・多面的に子どもを捉えることの大切さ、職員同士の共通認識の大切さを感じた。
- ・どんなエピソードでも、同僚と話をし共有することを持続していきたい。
- ・子どもを理解しその子にとってより良い保育を探していくために、丁寧に記録を取りたい。
- ・子どもたちが自発的に友だちや保育者と共有し合い、成長できるような環境を整えてあげたい。

テーマ例 「愛されて育つ子ども」「子どもや同僚と共に育つ保育者」
「子ども理解」「教育・保育理論」

資料は
こちらから



0・1・2歳児 研修会

2月1日(土)に令和6年度の0・1・2歳児研修会が実施されました。

埼玉大学教育学部の秋元文緒先生を講師にお招きし、「子どもと心を通わす音楽遊び」と題して、手あそび・あそびうた・わらべうたなどを使って、低年齢児から楽しめる音楽遊びを実践形式で学びました。

研修を通し、多くの歌をただ知るだけでなく、一つの歌をどう発展させるか、どう活用させるかということも、非常に大切なことだと学ぶことができました。

また、低年齢児向けの活用だけではなく、それを3歳児以上でも楽しめるような発展のさせ方など、受講者にとって音楽遊びの引き出し・バリエーションを増やすことができた機会になったことと思います。

資料は
こちらから



特別支援研修会

ノーベル賞を受賞したアインシュタインもアスペルガーですから…と締めくくられた特別支援研修会は、2月20日(木)埼玉医科大学総合医療センター小児科教授の是松聖悟先生を講師にお招きし「落ち着きのない子、引っ込み思案の子、聞き分けのない子、発達の気になる子、みんなキラキラした原石です」と題して開催されました。

自閉症やADHDなどの発達障害には、こだわりや多動、人との付き合いが苦手などの特性があるけれど、それらの苦手を克服して生活に困りが生じていなければ障害ではないとの話や不登校などの二次障害を防ぐにはそれぞれの地域で個性(特性)を理解して潜在能力を発揮できる環境づくりが大切であるとの話がありました。講演による様々な気づきの後、グループに分かれて話し合い、参加者が個々の園での状況や悩みを共有しました。

資料は
こちらから





今回は、創立70周年を迎えられた ひばり幼稚園にお邪魔しました。

Q：創立70周年おめでとうございます。創立以来、子どもたちのために続けられていることはありますか。

A：ありがとうございます。地域の方に支えられて、70周年を迎えられたことは、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。創立以来続いていることは徒歩通園です。集団で元気に歩くことで体を丈夫にし、友達とのコミュニケーション力も育ちます。命を守るための交通ルールも身に付きます。また、30年以上前から英会話教育を保育に取り入れています。

Q：園の特色として、園長先生は「挨拶」を挙げられましたが、生活の中でどのように挨拶の大切さを



副園長 谷原純子先生 園長 谷原勝美先生

伝えていらっしゃると思いますか。

A：園長はじめ教職員が皆で明るく元気に挨拶を行います。生活のけじめとなる挨拶は大切なコミュニケーション。普段から「ありがとう」という感謝の気持ちも身につけて欲しいと伝えています。

Q：70周年記念誌の中で、園の歴史を漫画でまとめられていましたが、これはどんな経緯があったのですか。

A：卒園生の中で、コミックライターになった方がいて頼みました。若い卒園生を含め多くの幼稚園関係者に観てもらいたい、漫画なら興味深く園の歴史を知ってくれるかなと考えました。

Q：子どもたちの未来へメッセージをお願いします。

A：いつまでも夢を追いかけて下さい。礼儀や優しい気持ちを持って、最後までやりきる力、楽しく学んだ英会話が少しでも役に立つ場面があれば嬉しく思います。

園庭の大きな榎の木をシンボルとして、自然に囲まれ元気よく遊ぶ子どもたちの声が絶えず響いていました。

幼稚園
アルバム



三郷市での取り組み

三郷市は県南東部に位置し、東は千葉県松戸市・流山市・南は東京都葛飾区と接しています。5つのICを擁する高速道路網や、2路線3駅の鉄道網など、交通の利便性が魅力で大型商業施設も充実している街です。

三郷市私立幼稚園協会では、総会を含め年6回園長設置者会を行っています。また年2回各園の園バスを総動員して園児を送迎し、園児の観劇会を行っています。

総会や新年会後には市長・議長・こども未来部長等をお招きし、懇談の場を設けています。懇談の席で幼稚園の実情を伝え続けております。そのおかげで、令和5年度から三郷市主催の合同就職説明会が開催されるようになりました。さらには、市単独の補助で私学助成園の教職員へ初任給の1割程度(月額18,000円)の処遇改善が行われるようになりました。

子どもたちのより豊かな成長と、こどもまんなか社会実現のために、子ども・保護者・教職員・行政がそれぞれの目線に立った取り組みを続けています。

三郷市

慶弔

弔事

11・27 萩原第一・第二幼稚園(越谷市)

萩原 秀樹 理事長逝去

12・17 あけぼの東幼稚園(久喜市)

夢川 みち子 前園長逝去

編集後記

紙面からもうかがえる様に、全埼玉幼連は会長はじめ執行部の先生方が官公庁訪問・陳情や、保育者資質向上のための数々に研修会を実行し、躍動しています。

各園の子どもと保育者の写真を募集します。表紙の写真等で使用させていただきます。データで全埼玉幼事務局までお送り下さい。

たくさんのお応募をお待ちしております。